

学校法人ISI学園 専門学校長野ビジネス外語カレッジ

2023年度 シラバス

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	日本語資格対策 I		（ NKT14F ）
講義名（コード）	日本語資格対策 I C		（ NKT14FC ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	五味 喜代幸	時間数	30
成績評価教員	五味 喜代幸	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	通常のビジネス会話のみならず、相手の心情を理解し適切な言い回しをすることでコミュニケーション力を高めることができる。
全体の内容と概要	前半：読解問題を解くためのポイント、新出語彙を学び、実戦問題を解く。 後半：聴解問題を解くためのスキルを学び、様々な形式の聴解問題を解き、解説を加える。
授業時間外の学修	読解問題の新出語彙の意味調べ・既習事項の復習
履修上の注意事項等	JLPT合格に向けて意欲的に授業に取り組むこと

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	試験の傾向を知る	読解・聴解ともに、試験概要・時間把握・模擬試験
2	文章のしくみが理解できる	読解：文章全体の意味をとらえる練習をする 聴解：聴解に必要な「課題理解・ポイント理解・概要理解」の形式を知る
3	対比のしくみが理解できる	読解：ほかのものと比べながら実践問題を解く練習をする 聴解：聴解に必要な「即時応答・総合理解」の形式を知る
4	言い換えの仕組みが理解できる	読解：ほかの言葉で言い換える問題を読み解く練習をする 聴解：似ている音、音の変化や縮約形などを聞き分ける練習をする
5	比喩の表現が理解できる	読解：比喩が使われている文章を読み解く練習をする 聴解：「即時応答」のスキルを学ぶ
6	試験の傾向がわかる	模擬試験
7	試験の傾向がわかる	模擬試験 F B
8	疑問提示文について理解できる	読解：なぜ、どうして、どのようになどの疑問文を使って話題を提示する練習 聴解：即時応答—最初の文を理解する
9	筆者の主張表現が理解できる	読解：筆者が自分の意見であることを示す表現を読み解く練習をする 聴解：即時応答—返事の文を考える
10	問いを解く技術を身につけることができる	読解：文章の細かい部分を正確に読み取る練習をする 聴解：「課題理解」のスキルを学ぶ
11	『指示語』が何を指しているかを理解できる	読解：「これ・それ・あれ」などの指示語を読み取る練習をする 聴解：課題理解—すべきことを理解する
12	「だれが」「何が」「何を」などを問う形が理解できる	読解：「だれが・何が・何を」などを読み取る練習をする 聴解：課題理解—最初にすることを考える
13	前期のまとめと解説	試験前のまとめ
14	前期のまとめと解説	期末試験
15	前期のまとめと解説	期末試験のフィードバックを通じて前期勉強したことの確認をする。

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	新完全マスター読解N2	新完全マスター聴解N2
参考文献・資料等		
備考		